

五月二十一日 つづき

十七時小田急線町田南テニスクラブで古木さん、近藤さん等と森の学校定例第一回打合わせ。十九時過迄。デービッド、野村同席。八月末着工の日程となる。森の中の良いロケーションに建てる建築である。建てる事を楽しみたい。二十一時頃世田谷村に戻る。

五月二十二日

六時起床。屋上菜園に生ゴミ埋める。今年はトマトが育ちそう。カラス対策を考えなければ。萩が見事に咲き乱れた。真紅のスイトピーも咲いた。

八時過新宿西口のコーヒーショップでコーヒー一杯の休息。世田谷村の二期工事の区切りを決めて何人かのスタッフを早く大学から移動させなくては。十時取手にて佐藤さんに会う。十時半柳田国男記念館。文間小学校生徒の語りを聞く。加納さん宅で昼食をいただき、十三時半文間小学校。利根町百人スクール開催。十七時コーヒーショップで利根町のご婦人方とおしゃべりをして東京に戻る。研究室の三好シユタークは少々日本のおばさん達のリアルパワーにカルチャーシユックを受けたようで良かったのではない。十七時過研究室に戻る。二十二時半まで打合わせ。二十四時世田谷村に戻る。田中純氏より「死者たちの都市へ」送附されて読み始める。同様なテーマを考えていたので興味深い。

五月二十三日 日曜日

七時過起床。八時デービッド来る。富士嶺の現場へ。十時過着研究室の連中が何人か最後の仕上げにいそんでいた。いくつかの修正を指示する。まだまだ現場を任せ切れないのは辛いものだが、これが建築なのだろう。仕方ない。十二時現場を去る。昼食、ほうとうを喰べ、十六時前、国分寺岡邸へ。岡夫妻に久し振りにお目にかかり、あいさつ。三十数年前に建てた吉祥寺のアパートを取り壊す事になったので、その段取りの報告。国分寺でデービッドと別れ十七時過世田谷村に帰る。何だかあつという間にせわしない生活に戻ってしまったな。屋上菜園に上りいささかの苗を植えた。毒だみを抜いたので手にそのに匂いがしみ込んでいる。

五月二十四日

午前中三回目の世田谷村開放系技術ゼミ。午後星の子愛児園増築現場。森田左官の仕上げを指示。硝炎の黒を色々と試してみた。これは使える。結局午後の研究室での打合わせを全てキャンセルして、十八時迄現場にはりついてしまった。左官の仕事で特別な事をやるうとすると現場に立ち会わねば駄目だ。職人さんの力を引き出すことができる。人間の手は実に複雑な表情をつくりだす。十九時前調布馬場さん宅打合わせ。設計変更の説明その他。深夜帰宅。これは値段がギリギリの設計になるな。